

「四ツ木診療所発熱外来受診者に関する後ろ向き調査研究」

臨床研究へのご協力をお願い

2020年から全世界で大流行した新型コロナウイルス感染症はすでに5年目に入りましたが、2023年12月31日までに全世界で7.7億人以上が感染し、うち700万人余り(0.91%)が死亡し(WHOデータ)、わが国においても、2023年5月8日までに3,377万人余が感染し、うち7.4万人余(0.22%)が死亡しました(厚生労働省データ)。特に、2022年後半からの第7波、第8波では高齢者を中心に多くの死亡者数を記録したことから、われわれ国民の生活パターンを激変させただけでなく、わが国全体の経済活動、医療体制等に及ぼした影響は計り知れないものとなりました。一方、その間に新型コロナワクチンの接種が導入され、かつ、直接的な抗ウイルス剤が矢継ぎ早に臨床応用されたことで、感染者の予後が大幅に改善したことも事実です。

さて、私ども四ツ木診療所では2020年12月から診療所内に発熱外来を開設し、これまで4,000例以上の患者さんの診療・治療にあたって参りました。今回、それらの患者さんに関するデータベースを構築し、さまざまな視点からの調査研究を行うことになりました。2020年12月から2023年12月末までに発熱外来を受診された患者さんを調査対象とさせていただきます。

本研究は日常診療で得られた臨床データ(新型コロナ感染の有無、濃厚接触者該当の有無、新型コロナワクチン接種回数、自覚症状、および客観的な臨床所見として、最高体温・酸素飽和度・脈拍数など)を集計する研究であり、これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱いますのでご心配はありません。皆さんの貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する研究計画書および研究の方法に関する資料を閲覧されたい場合、もしくはご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、またはこの研究に関して質問、相談されたい方は、下記の連絡先までご連絡ください。

連絡先：〒124-0014 東京都葛飾区東四ツ木 4-45-16

医療法人財団 健和会 四ツ木診療所

研究責任者 正木 尚彦

☎03-3694-1661